

カンキツ新品種の育成

果樹試験場

[研究期間]

平成 28～30 年度

[背景とねらい]

ウンシュウミカンをはじめとするカンキツ産地の活性化を図るためには、技術対策と並行して新品種の育成が求められています。このような中、和歌山県では、果樹農業振興計画にカンキツ新品種の育成を掲げ、オリジナル品種育成を目指しています。

本研究では、珠心胚育種で有望な極早生ミカン、枝変わり探索で成熟期の遅い超晩生ミカンの選抜育成に取り組みました。同時に、これまでに選抜してきた食味のよい中晩柑‘和果試交雑第1号’（品種名：‘はるき’）および、浮皮の少ない晩生ミカン‘植美’の品種登録を目指しました。

[研究の成果]

1. 珠心胚育種、交雑育種による新品種育成

- 1) すでに県内で普及している極早生ミカン‘YN26’と比較して、さらに着色が早く食味のよい極早生ミカン‘YN65’を珠心胚育種により育成しました。また、普及性の検討のため、平成 28 年に県内 6 箇所の JA 管内に協力を呼びかけ、試験園地を設置しました。
- 2) 3 月に成熟する食味のよい中晩柑‘はるき’を交雑育種により育成し、平成 30 年 12 月に登録出願を行いました。

2. 枝変わり探索による新品種育成

- 1) 果皮の成熟が非常に遅く浮皮がほとんど発生しない超晩生ミカン‘25-2’を選抜し、育成地（有田郡湯浅町）以外においても同様の性質を示すことを明らかにしました。現在、果実、花、枝梢について特性調査を行い、登録出願の準備を進めています。
- 2) 浮皮の少ない晩生ミカン‘植美’について、品種特性を調査し、登録出願の支援を行いました（平成 29 年 8 月 18 日出願公表）。

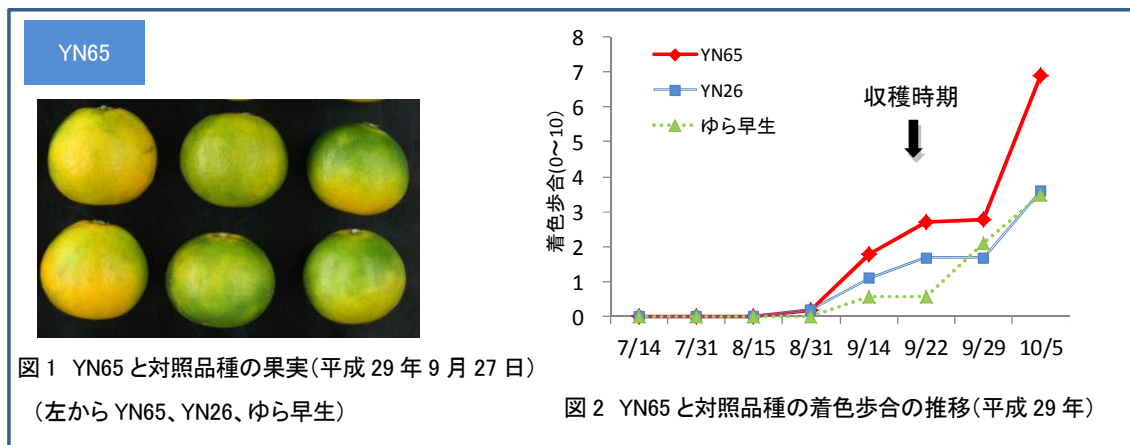
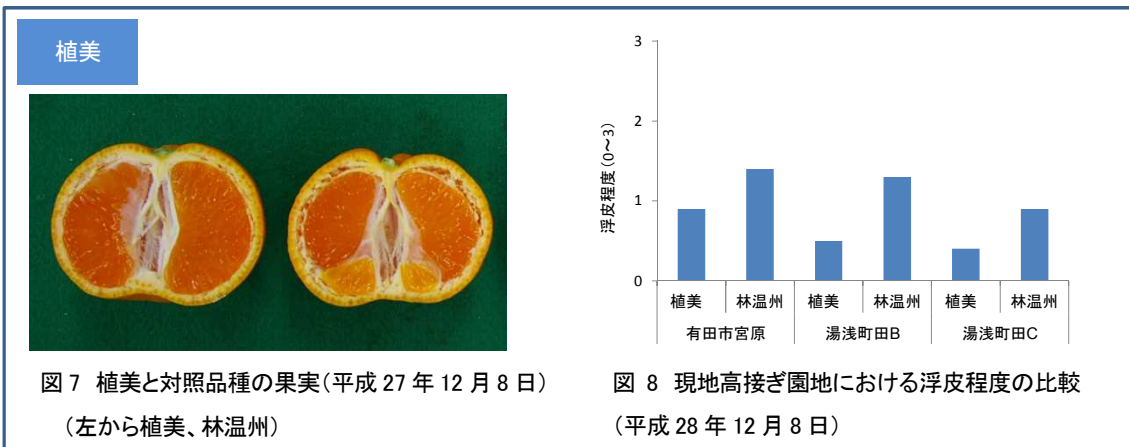
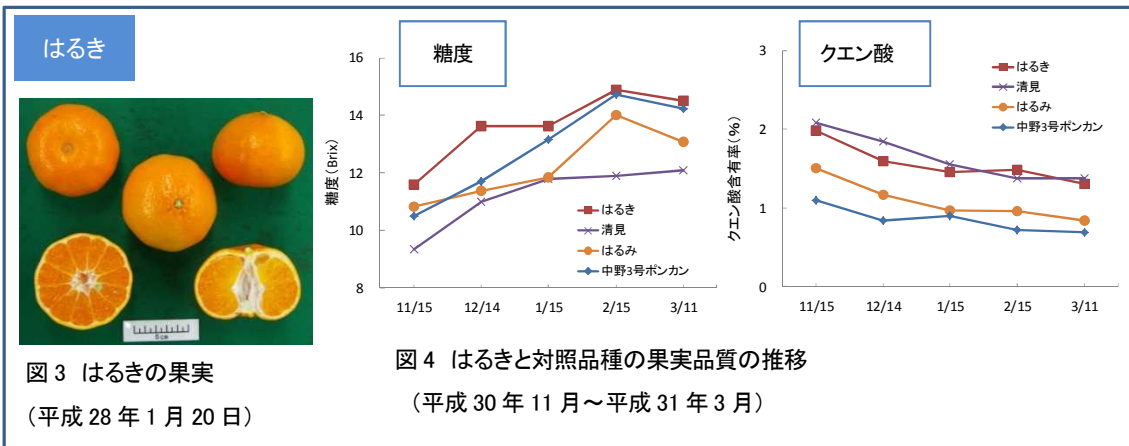


図1 YN65と対照品種の果実(平成29年9月27日)

(左からYN65、YN26、ゆら早生)

図2 YN65と対照品種の着色歩合の推移(平成29年)



[成果のポイントと活用]

1. 育成した‘植美’、‘はるき’は和歌山県内において栽培することができます。‘植美’は令和2年から、‘はるき’は令和3年から、県果樹育苗組合加盟業者より苗木が販売される予定です。
2. ‘YN65’、‘25-2’は普及性を検討するため、現地適応性試験を実施中です。
3. 本研究で選抜、育成された品種に関する情報は、出願公表後、果樹試験場ホームページにおいて公開予定です。

(問い合わせ先 TEL: 0737-52-4320)